



会社概要と ソリューションガイド





Keeper Securityは、2011年に**ダレン・グッチョーネ**(CEO兼共同創業者) と**クレイグ・ルーリー** (CTO兼共同創業者) によって設立されました。Keeperは米国イリノイ州シカゴの本社の他、カリフォルニア州エルドラドヒルズ (ソフトウェア開発チーム)、アイルランドのコーク (EMEAビジネスセールス)、日本の東京 (APACビジネスセールス)、フィリピンのセブ島 (国際カスタマーサポート) にも拠点を展開しており、世界中の多くの個人と組織にサービスを提供しています。

Keeperについて

Keeperは、サーバー、ウェブアプリ、データベース、ワークロードなどの重要なリソースへのアクセスを保護および管理するゼロトラスト特権アクセス管理ソフトウェアで業界をリードしています。Keeperはクラウドネイティブのゼロ知識プラットフォームで、企業向けパスワード管理、シークレット管理、接続管理、ゼロトラストネットワークアクセス、リモートブラウザ分離の各機能が1つの使いやすいインターフェースに統合されています。Keeperのソリューションでは、対象ユーザー (個人ユーザー、MSP、企業など) にかかわらずエンタープライズプラットフォームのテクノロジーとセキュリティを採用しています。

ITとセキュリティの専門家の92%が、サイバー攻撃の頻度が1年前より増加していると報告しています。





ゼロ知識セキュリティモデル

Keeperはゼロ知識セキュリティモデルを使用する数少ないサイバーセキュリティプラットフォームのひとつで、完全なエンドツーエンド暗号化と独自のデータ分離フレームワークを活用してサイバー攻撃やデータ侵害から保護します。

暗号化と復号化については、ユーザーが Keeperボルト (保管庫) にログインする際にデバイスレベルで行われます。ボルトに保存されている個々のレコードは、ユーザーのデバイス上で生成されるランダムな256ビットAESキーで暗号化されます。データは、ユーザーのデバイスを離れた後も暗号化されたままインターネット経由で送信され、Keeperボルトに保存されます。

つまり、ユーザー以外の誰もマスターパスワード、データの復号化に使用される暗号化キー、Keeperボルトの内容にアクセスすることはできず、それはKeeperの従業員でさえ例外ではありません。データはエンドユーザーのデバイス上でのみ復号可能であり、復号にはマスターパスワードまたは楕円曲線の秘密鍵が必要です。

Keeperで採用されている暗号化方式は、広く信頼されているアルゴリズムであるAES (Advanced Encryption Standard) で、256ビットの鍵長を使用しています。PBKDF2とHMAC-SHA256を使用して、ユーザーのマスターパスワードを256ビットの暗号化キーに変換します。このプロセスは、最低でも100万回反復して実行されます。ユーザー間でのシークレットを共有する際には、楕円曲線暗号を使用して安全にキーを配布します。

KeeperのクラウドSSO機能では、ユーザーのボルトに対して完全なゼロ知識暗号化を維持しながら、SAML 2.0 IDプロバイダへの認証を実現します。

コンプライアンスと監査



ボルト内のレコードの安全は、厳格に監視された内部管理手続きを通じて確保されています。Keeperは、AICPAサービス組織管理フレームワークに基づき、10年以上にわたりSOC 2タイプ2への準拠を継続しています。SOC2への準拠により、AICPAのトラストサービス原則フレームワークに基づいた標準化コントロールを実装することで、ユーザーボルトのセキュリティが確保されます。



ISO認証取得済み

KeeperはISO 27001、27017、27018の各認証を取得しており、KeeperエンタープライズプラットフォームをサポートするKeeper Securityの情報管理システムとクラウドインフラのセキュリティを支えています。KeeperのISO認証は、デジタルボルトおよびクラウドサービスの管理・運用、クラウドセキュリティ対策、データプライバシーの管理、ソフトウェアおよびアプリケーション開発、ならびにデジタルボルトおよびクラウドサービスにおけるデジタル資産の保護を対象としています。



FIPS 140-3検証済み

KeeperではFIPS 140-3検証済みの暗号化モジュールを採用することで、政府機関および公共部門の厳格なセキュリティ要件にも対応しています。Keeperの暗号化技術は、NIST暗号モジュール検証プログラム (CMVP) により認証され、公認の第三者機関による検証を経てFIPS 140標準に準拠しています。KeeperではNIST CMVPの認証のもと、証明書番号 #4743を取得したFIPS 140-3検証済みの暗号化技術を採用しています。



FedRAMP
認証済み



StateRAMP
認証済み

Keeper公共機関向けクラウド (KSGC)は、公共機関向けのパスワード管理および特権アクセス管理プラットフォームです。KSGCはFedRAMPおよびStateRAMP認定のプロバイダで、AWS GovCloud (US) でホストされています。KSGCは、FedRAMPマーケットプレイスとStateRAMPマーケットプレイスからご利用になれます。FedRAMP (連邦リスク認証管理プログラム) は、クラウド製品およびサービスへのセキュリティ評価、認証、継続的な監視の標準を確立する米国政府の制度です。FedRAMPは、政府機関による最新クラウド技術の活用を支援し、セキュリティと連邦情報の保護を強化するとともに、安全なクラウドソリューションの導入を促進しています。

Keeper Securityのコンプライアンス&監査の完全なリストについては、[Keepersecurity.com/security](https://keepersecurity.com/security) をご覧ください。

ゼロトラスト

・ゼロ知識の特権アクセス管理



Keeperの革新的なPAMプラットフォームにより、組織内のどのデバイスのどのユーザーに対しても完全な可視性、セキュリティ、コントロール、レポート作成を実現できます。KeeperPAM™は、サーバー、ウェブアプリ、データベース、ワークロードなどの重要なリソースへのアクセスを保護し、管理します。組織内のすべてのユーザーとデバイスは、認証および認可され、モニタリング、脅威追跡、レポート作成の各機能もご利用いただけます。クラウドネイティブのゼロ知識プラットフォームであるKeeperPAMでは、企業向けパスワード管理、シークレット管理、接続管理、ゼロトラストネットワークアクセス、リモートブラウザ分離の各機能を1つの使いやすいインターフェースに統合しています。ゼロトラストアーキテクチャの実装、最小特権の原則の適用、高度な監視・管理ツールによって、企業や組織を支援します。

- 規制の遵守
- 情報漏洩や認証情報の盗難から保護
- ユーザーアクセスを簡素化して保護
- ITスタッフの管理負担を軽減
- 全体的なセキュリティ態勢を強化しながら、運用効率を向上
- 情報漏洩が発生した場合に重要データに対するリスクを軽減

この統合プラットフォームにより、重要なインフラを保護するだけでなく、プロセスを効率化したり、特権アカウントに関連するリスクを軽減できます。また、組織のコンプライアンスと監査もサポートします。

企業向けパスワード管理

パスワード、パスキー、機密データをゼロ知識ボルト (保管庫) で保護するだけでなく検出、共有、ローテーションも行い、ロール別のアクセス制御、監査、コンプライアンスを実現します。パスワード、パスキー、ファイルの保存についてはデバイスやユーザーにかかわらずシンプルなアプローチ。シングルサインオンと組み合わせると、パスワードなしでもログイン可能。

シークレット管理

CI/CD パイプライン、DevOpsツール、カスタムソフトウェア、マルチクラウド環境をゼロ知識プラットフォームに統合し、インフラのシークレットを保護してシークレットの散逸を防ぎます。サービスアカウント認証情報をローテーション (スケジュールとオンデマンドに対応)。

ゼロトラストネットワークアクセス

クラウドおよびセルフホストの特権セッションの確立、トンネルの作成、ゼロトラストインフラへのアクセスを強化。また、VPNなしで安全なリモートデータベースアクセスを実現。

リモートブラウザ分離

ウェブベースのアプリケーション、クラウドアプリ、BYODデバイスをマルウェアから守り、情報漏洩を防止。完全な監査、セッションの録画、パスワードの自動入力機能を活用して、ブラウジングセッションを管理。

管理コンソール

ここからKeeperの管理およびユーザーへ展開を実行。IDプロバイダとの連携、アクティビティの監視、ロール別強制適用ポリシーを確立。

コントロールプレーン

特権アクセス、セッション管理、ポリシー、ワークフローに関連するすべてのコンポーネントと活動を統括および監視。

ビジネスソリューション



KeeperPAM

Keeperの特許取得済みPAMプラットフォームにより、組織、デバイス、ユーザーを選ばずに完全な可視性、セキュリティ、コントロール、レポート作成を実現。プラットフォームはクラウドベースであり、ゼロトラスト・ゼロ知識セキュリティを採用し、重要なPAM機能を一元化することでコンプライアンス要件を満たします。



Keeperビジネスパスワードマネージャー

Keeperビジネスパスワードマネージャーで、従業員のパスワードの取り扱いを完全に可視化し、企業固有のパスワードポリシーの実施、従業員のコンプライアンス遵守の監視、監査証跡とレポートの生成が可能になります。また、ロール別アクセス制御と認証情報共有機能により、特権アカウントの認証情報のライフサイクルを安全に管理。



Keeperエンタープライズパスワードマネージャー

KeeperエンタープライズパスワードマネージャーはKeeperビジネスのすべての機能に加えて、シングルサインオン (SSO) SAML 2.0認証、自動チーム管理、高度な多要素認証 (DUO&RSA)、Active DirectoryおよびLDAPとの同期、SCIMとAzure ADでのプロビジョニング、メール自動プロビジョニング、コマンドラインプロビジョニング、パスワードローテーションとバックエンド統合用開発者向けAPIがご利用になれます。



Keeper公共機関向けクラウド (KSGC)

AWS GovCloudによるKeeper Security公共機関向けクラウドは、FedRAMPおよびStateRAMP認証済みのパスワード管理と特権アクセス管理のプラットフォームです。KSGCは、小規模な自治体から大規模な連邦政府機関や大学まで、あらゆる規模の組織を保護します。また、リスクの軽減、サイバー攻撃からの防御に加えてHIPAA、FINRA、SOC、ITARなどへのコンプライアンスを支援します。



KeeperMSP

KeeperMSPは、MSPに特化したマルチテナントのゼロ知識プラットフォームです。管理対象企業 (MC) とMSPを不正アクセスや情報漏洩から保護します。MSPでは、エンタープライズパスワードマネージャーと特権アクセス管理ソリューションの両方をMCに提供することで標準ユーザーと特権ユーザーを同様に保護できます。プロビジョニングと管理は一元化された管理コンソールを通じて処理されるため、すべてのユーザーにプライバシーとセキュリティを確保しながら効率的にコントロールできます。

強力なアドオンでチームを保護



高度なレポート作成と アラートモジュール (ARAM)

ARAMのカスタマイズ可能なレポート作成とアラートの機能によりKeeperのレポート機能を強化。管理者はあらゆる規模のユーザーグループを監視し、トレンドデータの概要を確認したりできます。また、リスクのある行動や異常な行動に関してはリアルタイムで通知を受け取ることもできます。すべてのイベントデータはサードパーティのSIEMにログとして記録可能。



ビジネス向け BreachWatch®

Keeper BreachWatchは、ユーザーのKeeperボルトを常にスキャンしてダークウェブに漏洩しているパスワードが含まれていないかをチェックします。そのようなパスワードが見つかった場合には即座にアラートが送信されます。管理者には、組織全体で侵害されたパスワードの概要が表示されます。



コンプライアンスレポート

Keeperコンプライアンスレポート機能により、ゼロトラスト・ゼロ知識環境で組織全体の特権アカウントのアクセス権限の利用状況を監視してレポートを作成できます。アクセス制御のモニタリングとイベント監査が必要となる「上場企業会計改革および投資家保護法 (SOX)」などの規制の監査に対応。コンプライアンスレポートは必要に応じて生成でき、自動コンプライアンスシステムや外部監査人に転送できます。



ビジネス向け KeeperChat®

KeeperChatでは、メッセージアプリとしては最高レベルのプライバシー、セキュリティ、ストレージを実現。高速で使いやすく、他のメッセージアプリよりはるかに安全。KeeperChatでも他のKeeper製品と同様にゼロ知識アーキテクチャを採用しており、KeeperChatユーザーのみが自分のデバイス上のメッセージを復号化してアクセスできるようになっています。



Keeper SSOコネクト®

Keeper SSOコネクトはSAML 2.0サービスで、既存のシングルサインオンソリューションと簡単に連携してゼロ知識パスワード管理と暗号化で強化。オンプレミス、ハイブリッドクラウド、シングルクラウド、マルチクラウドなど、あらゆるデータ環境に迅速に展開できます。Keeperとのシングルサインオン連携では、楕円曲線暗号を使用してゼロ知識を確保。

一般ユーザー向けソリューション

無制限数の認証情報を保存してどのデバイスからでもアクセス

Keeperのパスワードマネージャーなら、パスワード、パスキー、多要素認証コードを安全なデジタルボルトに保存できるだけでなく、ウェブサイトとアプリでログイン情報の自動入力にも対応。パソコン (Windows、Mac、Linux) からKeeperボルトにアクセスするには、ウェブボルト、Keeperデスクトップアプリ、ブラウザ拡張機能を使用します。モバイル端末の場合は、iOSまたはAndroid用のKeeperアプリをダウンロードします。ボルトはリアルタイムで同期するので、使用しているデバイスに関係なく常に最新の状態のボルトにアクセスできます。

カスタムフィールドとカスタムレコードタイプで整理整頓

Keeperボルト内では、ウェブサイトへのログイン情報 (多要素認証コードを含む) を編集したり、ワンタイム共有機能を介して他のKeeperユーザーはもちろんKeeperを使用していないユーザーともレコードを共有したりできます。カスタムフィールドを使用すると、秘密の質問とその回答など重要な情報をさらに追加できます。また、カスタムレコードタイプを使用すると、Keeperウェブボルトを使用して、支払いカード、自宅のWiFiのパスワード、警報システムのセキュリティコード、デスクトップおよびモバイル端末のPIN など、あらゆる機密情報を整理して保存することができます。

エンタープライズグレードのデータ保護を一般ユーザーにも

Keeperの一般ユーザー向けソリューションは、エンタープライズ用製品と同じ独自のゼロ知識暗号化を利用しており、エンタープライズグレードのセキュリティを一般ユーザーにもお届けしています。パスワードやファイルにアクセスして復号化できるのはユーザーのみです。他のユーザーがマスターパスワード、暗号化キー、ボルトの内容にアクセスすることはできず、Keeperの従業員も例外ではありません。

緊急アクセス

緊急時など、自分以外の誰かにKeeperボルトにアクセスしてもらいたい場合、緊急アクセス機能を使用することで最大5人のユーザーにアクセス権を付与できます。

インストールが簡単で使いやすい

Keeperは可能な限りユーザーフレンドリーにデザインされています。ご不明な点がございましたら、弊社のウェブサイトにてユーザーガイドと各種動画をご用意しておりますので、ぜひご活用ください。



一般ユーザー向けソリューション



Keeper Unlimited

Keeperアンリミテッドを使用すると、パスワードを暗号化されたデジタルボルトに保存した上で、どこにいても使用しているデバイスやOSに関係なくアクセスできるようになります。KeeperFillはブラウザ拡張機能で、ウェブサイトやアプリでログイン情報を自動入力してくれるため、どのオンラインアカウントでも強力かつユニークなパスワードを簡単に使用できるようになります。パスワードに加えてクレジットカード情報、機密ファイル、ドキュメント、写真、動画などの保存にも対応。多要素認証コードの保存にも対応。



Keeper Family

Keeperファミリープランは、Keeperアンリミテッドでご利用いただける機能を最大5人の家族で使えるように拡大したプランです。家族間でパスワード、ファイル、クレジットカードなどを共有するための簡単で安全な共有機能を備えています。前もって共有されていない限り、家族間でお互いのパスワードにアクセスすることはできません。サブスクリプションには10GBのファイルストレージも含まれています。



ファイルストレージ

Keeperボルトに保管できるのはパスワードだけではありません。Keeperのファイルストレージでは、重要なドキュメントを安全に保管でき、必要な際にはすぐにアクセスすることができます。保険やローンの書類、予防接種やその他の医療記録、証書、銀行口座の明細、写真など、様々なファイルを保存できます。



BreachWatch®

BreachWatchがダークウェブを常にスキャンしており、ボルト内に保存されている認証情報がダークウェブに流出している疑いがある場合には即座にユーザーに通知されます。



KeeperChat®

世界で最も安全なメッセージングプラットフォームであるKeeperChatは、高速で使いやすく、Keeperのパスワードマネージャーと同様にゼロ知識アーキテクチャが採用されています。そのため、デバイス上のメッセージを復号化してアクセスできるのはユーザー自身のみとなります。KeeperChatは、すべての一般ユーザーの方に無料でご利用いただけます。

業界レビューと受賞歴



Apple App Store
星評価4.9/5点



Google Playストア
星評価5点満点中4.6点



SoftwareReviews

SoftwareReviews
8.9/10点



GetApp

GetApp
星評価4.7/5点



G2

Keeperパスワードマネージャー
星評価4.6/5点



Gartner
peerinsights™

Gartner Peer Insights

エンタープライズパスワード管理
星評価4.6/5点



PCPro (イギリス)

推奨
星評価5/5点



ITreview

ITreview (日本)

ハイパフォーマー
星評価4.2/5点

Software Advice

Software Advice

Keeperパスワードマネージャー
星評価4.7/5点

Keeperシークレットマネージャー
星評価4.6/5点



Capterra

Capterra

Keeperパスワードマネージャー
星評価4.6/5点

Keeperシークレットマネージャー
星評価4.6/5点

2024年アナリスト評価

EMA

Keeper Securityのゼロトラスト特権アクセス管理 (PAM) ソリューションである KeeperPAM®は、2023年に引き続き、IT およびデータ管理アナリストの調査およびコンサルティング会社であるEMA (Enterprise Management Associates) の 2024 PAMリーダー™レポートでバリューリーダーとして認められました。

- KeeperPAMは、製品の強度とコスト効率において、PAMの筆頭プロバイダとして認められました。
- 2024 PAMリーダー™レポートでは、Keeperが幅広い機能を備えながらも導入しやすいプラットフォームの実現に成功したことが注目されています。
- レポートでは、クラウドホスト型SaaSソリューションとしてオンプレミスでのインフラの展開を必要とせず、エージェントレスかつクライアントレスであるため、追加のソフトウェアが必要ないことが指摘されています。

リーダーは、アーキテクチャと統合、機能、展開と管理、コスト優位性、ベンダーの強みという5つのカテゴリで製品の特性を評価して選定されます。

GigaOm

Keeper Securityは、GigaOmリーダーレポートのエンタープライズパスワード管理部門でリーダーとして認められ、2024年の総合価値では他のどのベンダーよりも高い評価を獲得しました。Keeperが同レポートで最高位にランクされるのは3年連続となり、最先端のサイバーセキュリティソリューションを提供するというKeeperの使命を体現する形となりました。GigaOmレポートでは、主要な機能、ビジネス基準、新興技術に焦点を当て、13種類の主要なパスワード管理ソリューションが評価されています。

- Keeperは、すべての基準で高いスコアを獲得しており、特にゼロトラスト特権アクセス管理 (PAM) ソリューションであるKeeperPAMを通じたイノベーションと成長の絶え間ない追求で際立っています。
- さらに同レポートでは、Keeperのシークレット管理、IDプロバイダ (IdP) とのシームレスな連携、強力なコンプライアンス機能が大きな競争上の優位性として注目されています。

2024年の受賞歴



SCアワードヨーロッパ

ベストセキュリティカンパニー



Fortress Cybersecurity Awards

ゼロトラスト



Teiss Awards

今年の新製品



Cybersecurity Excellence Awards

サイバーセキュリティリサーチ

ベストIDアクセス管理

ベスト特権アクセス管理

ベストCEO

最優秀CTO

ベストサイバーセキュリティ企業

最も革新的なサイバーセキュリティ企業

ベストゼロトラストセキュリティ

グローバルサイバーセキュリティビジョナリー



Reseller Choice Awards

ベストパスワード管理

戦略的投資家

Insight Partners (インサイトパートナーズ)

Insight Partnersは、世界有数のベンチャーキャピタルおよびプライベートエクイティ (PE) ファームで、テクノロジーおよびソフトウェアで業界に変革をもたらす高成長の「ScaleUp」企業に投資しています。1995年に設立されたInsight Partnersは、世界中の800社以上の企業に投資し、900億ドル以上の規制資産を管理しています。Insight Partnersの使命は、先見の明のある起業家を見つけて資金提供し、成功に導くことです。長期的な成功を促進するため、実践的で手厚いソフトウェアの専門知識を提供しています。Insight Partnersでは、その従業員とポートフォリオを通してScaleUp企業とその成長がすべての人に機会を生み出すという信念を中心とした文化を奨励しています。Insight Partnersとその投資の詳細については、insightpartners.comをご覧ください。

Summit Partners (サミットパートナーズ)

1984年に設立されたSummit Partnersは、成長株投資、固定収益、および公開株式の投資機会に特化し、現在360億ドル以上の資本を運用するグローバルなオルタナティブ投資会社です。Summit Partnersは経済の成長分野全般に投資を行い、これまでにテクノロジー、ヘルスケア、その他の成長産業において550社以上の企業へ投資してきました。Summit Partnersは北米およびヨーロッパにオフィスを構え、世界中の企業に投資を行っています。詳細については、SummitPartners.comをご覧ください。か、[LinkedIn](#)でSummitをフォローしてください。